

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●革新的無線通信技術に関する横断型研究会

(MIKA2022: Multiple Innovative Kenkyu-kai Association for Wireless Communications 2022)

実行委員長 菊間信良 (名工大)

新型コロナウイルス感染症拡大のため、生活様式が変わる中、スマートフォンやIoT (Internet of Things) 無線デバイスの重要性はますます高まっております。更に多種多様なサービスやアプリケーションも誕生しており、このような多様化する無線トラフィックを安定的に収容するためには、無線アクセスからネットワークまでを総合的に捉えた無線システムの創出が必要とされております。このような背景から、無線通信を、様々な分野における研究と横断的に議論し、新的無線通信技術に関する横断型研究会、MIKA2022 を 2022 年 10 月に開催致します。MIKA2022 は、オンライン参加を基本としましたが、MIKA 2022 は、現地開催を基本としたハイブリッドスタイルで、無線通信を取り巻く様々な研究領域を横断的に議論できる研究会を目指しております。

本会議で議論するテーマとして、無線技術を主体としつつ、異分野の研究者同士の活発な議論を推進します。過去の MIKA で好評を博した、招待講演・チュートリアル講演・ポスター発表を中心とし、横断型研究会ならではのテーマを絞った特別セッションも企画しております。MIKA2022 では、現地でもオンラインでも、じっくりと議論・聴講できるようにシングルセッション構成とし、ポスターセッションでは、現地での対面での議論をさらに推進するため、大会初日にポスターセッションのショートプレゼン大会の実施を予定しています。

期日 2022 年 10 月 12 日 (水): オンライン

10 月 13 日 (木)~15 日 (土): 新潟市民プラザ+オンライン

会場 〒951-8061 新潟市中央区西堀通六番町 866 NEXT21 ビル 6 階+オンライン

企画内容

以下の講演を計画しています。なお、内容等が一部変更になる場合がありますので、最新情報は MIKA ホームページ (<https://mika-wc.org/2022>) にて御確認下さい。

〈特別招待講演〉

- ・玉城絵美 (琉球大)
「研究からのビジネス展開—Body Sharing の場合—」
- ・根来 誠 (阪大)
「マイクロ波による量子コンピュータ制御」
- ・高木浩一 (岩手大)
「時空間制御された電場の農業・食品分野への利用」

〈チュートリアル講演〉

- ・今井哲郎 (東京電機大)
「移动通信における電波伝搬シミュレーション」
- ・田中雄一 (東京農工大)
「グラフ信号処理の基礎と応用: ネットワーク上データのフィルタリング・サンプリング・修復」

〈特別企画・イベント〉

- ・農業 ICT 特別セッション
- ・企業展示, セミナー
- ・招待講演 (7 件)
- など

【発表申込】

- ・テーマ: 無線分野を中心とする電子情報通信学会の対象とするテーマ全般
- ・発表形式: オンラインシステムを利用したポスター発表
- ・申込方法: MIKA2022 ホームページ (<https://mika-wc.org/2022/>) の発表申込サイトよりお申込み下さい。
- ・発表申込締切: 9 月 9 日 (金)
- ・発表概要提出締切: 9 月 30 日 (金)
- ・発表概要: 電子情報通信学会の研究会原稿の様式に従い、発表概要 (氏名, 所属, 連絡先を含めて 1 ページ以内) を PDF ファイルで御提出下さい。研究会原稿の様式については、電子情報通信学会ホームページ (https://www.ieice.org/jpn_r/event/kenkyukai/kenkyukai-toukou.html#teishutu) を御参照下さい。発表概要資料の著作権は著者に帰属します。
- ・ポスター賞: ポスターセッションにおいて発表されたポスターの中からポスター賞を選定し、その発表者を表彰致します。

ます。選奨規程、選奨の種類等の詳細については MIKA2022 ホームページ (<https://mika-wc.org/2022>) を御参照下さい。

【参加申込】

- ・参加を御希望される方は、MIKA2022 ホームページ (<https://mika-wc.org/2022/>) よりお申し込み下さい。参加申し込み方法及び参加費支払い方法の詳細も掲載されております。
- ・早期参加登録締切：9月9日（金）
- ・参加登録最終締切：10月10日（月）
- ・参加費（予稿集込）
 - 一般（早期参加登録期限までの申込み）：18,000円（会員）、25,000円（非会員）
 - 一般（早期参加登録以降の申込み）：23,000円（会員）、30,000円（非会員）
 - 学生：6,000円

【問合せ先】 MIKA2022 幹事

安在大祐（名工大）・工藤理一（NTT）・塩見英久（阪大）

E-mail：mika2022@mika-wc.org

主催 電子情報通信学会 通信ソサイエティ 第三種研究専門委員会 革新的無線通信技術に関する横断型研究会 (MIKA)

協賛 通信ソサイエティ：アンテナ・伝播研究専門委員会／宇宙・航行エレクトロニクス研究専門委員会／コミュニケーションクオリティ研究専門委員会／スマート無線研究専門委員会／短距離無線通信研究専門委員会／通信方式研究専門委員会／ネットワークシステム研究専門委員会／ヘルスケア・医療情報通信技術研究専門委員会／無線通信システム研究専門委員会／無線電力伝送研究専門委員会（五十音順）

基礎・境界ソサイエティ：企画戦略室／高信頼性制御通信研究専門委員会/NOLTA ソサイエティ（五十音順）

他学会：日本きのこ学会

●第29回ネットワークソフトウェア研究会

委員長：菊間一宏（日大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします。本研究会では、企業・大学における研究・教育上の課題のみならず、製品開発や保守運用上の課題など、研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります。

期日 2022年10月27日（木）、28日（金）

会場 信州大（長野市）

※ IN 研究会、ICTSSL 研究会、IEEJ-SMF 研究会と併催

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本研究会はオンライン開催のみとなる可能性があります。最新の状況は募集案内を御確認ください。

募集案内：<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/29/announce/>

テーマ：次世代コミュニケーションに向けたネットワークソフトウェア技術＋一般概要

ネットワークを介したコミュニケーションは、従来の電話・メールに加え、チャットやSNSなど様々な手段が広がっています。更に今後は、5G/Beyond 5Gによるネットワークの更なる高速化／大容量化／低遅延化、及び Artificial Intelligence (AI) や Virtual Reality (VR) 技術の発展に伴い、現実世界のあらゆる情報をデジタル化しやり取りすることが可能になると予想されます。本研究会では、このようなコミュニケーションの高付加価値化に向けて要求されるネットワークソフトウェア技術について、幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り、議論を行います。

【本研究会の特徴】

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件あたり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

・ポジションペーパー：構想段階などにて意見を収集したい方向け

1件あたり標準で20分。発表者からのプレゼンテーションは5～10分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てます。一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

一般講演申込：9月26日（月）

ポジションペーパー講演申込：9月26日（月）

研究会参加申込：10月14日（金）

原稿提出：10月14日（金）

参加費振込：10月19日（水）

【参加費（予定）】

一般：3,000円、学生：無料

【講演・参加申込方法・原稿提出方法】 下記ウェブページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/29/announce/>

【講演・参加申込先・原稿提出先】

赤松雄貴（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

E-mail：ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

TEL〔0422〕59-3973

【研究会全般に関する問合せ先】

谷田康司（NTT）

TEL [0422] 59-4833

主催 ネットワークソフトウェア研究会 運営委員会

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/>

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 47 回量子情報技術研究会 (QIT47)

委員長 武岡正裕 (慶大)

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に活かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理科学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。第 47 回研究会では、現在この分野で活躍する研究者は勿論、自分の研究資産が何らかの形で使えそうだと予感している研究者・技術者など、広く関連する分野の研究者・技術者からの発表を募集致します。聴講のみの参加も歓迎致しますので、奮ってお申し込み下さい。

期日：12 月 8 日 (木)、9 日 (金)

会場：慶大・矢上キャンパス 14 棟地下 2 階マルチメディアルーム (MMR) (横浜市港北区日吉)

発表募集分野 (申し込み状況によっては査読の可能性あり)：

量子情報、量子計算、量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究、実験的研究、計算機科学的研究、数学的研究、及び、その他関連分野。学生発表賞あり。

定員：300 名程度

参加費

事前振込 一般 2,000 円, 学生 1,000 円

直前料金 一般 3,000 円, 学生 2,000 円

研究会参加申込要領

参加申込は下記 Web にて受付けます。

<https://www.ieice.org/es/qit/>

講演 (口頭, ポスター) の申込, 予稿集原稿 PDF の提出は, 電子情報通信学会の Web システムを使用する予定。

- ・口頭講演申込締切 10 月 28 日 (金)
- ・ポスター講演申込締切 11 月 18 日 (金)
- ・予稿原稿提出締切 11 月 18 日 (金)
- ・参加事前登録締切 12 月 1 日 (木)

【問合先】

山本直樹・田中 宗・古池達彦・関 優也 (慶大)

E-mail : qit47@appi.keio.ac.jp

主催：量子情報技術特別研究専門委員会 (委員長：武岡正裕 (慶大))

共催：応用物理学会；量子エレクトロニクス研究会